

要 望 書

地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会

東京 8 号線の早期建設並びに延伸誘致に係る要望書

交通政策審議会答申第 1 9 8 号で位置付けられた東京 8 号線（押上－野田市）について、八潮－野田市間の整備実現に向けて、速やかに事業化が図られるよう貴県の積極的な参画及び協力を要望いたします。

埼玉県東部地域、千葉県北西部地域、茨城県西・南部地域は、東京に近接しているにも関わらず、都内への通勤・通学等に長時間を要していることから、東京へ直結する鉄道の整備は住民の長年の悲願となっております。

このことから、当地域では、地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会（以下、同盟会）を設立し、官民一体となり、東京へ直結する鉄道の建設・誘致に向けて、様々な取組を行っております。

こうした取組が結実し、平成 2 8 年 4 月に取りまとめられた交通政策審議会答申第 1 9 8 号において、東京 8 号線の押上－野田市間が「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置付けられたことは、同盟会関係自治体並びに沿線住民にとりましてこの上もない喜びとなりました。

東京 8 号線の八潮－野田市間の整備により、都心への所要時間の短縮など、速達性、利便性が向上するとともに、まちの魅力創出に結び付き、経済活動の活性化が図られます。

また、移動手段が自家用車から鉄道へ転換することにより、CO₂排出量の削減はもとより、渋滞による経済的損失の軽減に寄与することから、道路混雑の緩和とともに低炭素社会の実現が図られます。

さらに、近年頻発する大規模災害等のリスクに対し、並行する他の鉄道路線の代替機能を果たすとともに、JR 武蔵野線、東武鉄道野田線といった環状路線と結節することで鉄道ネットワークの多重化による代替経路の確保が図られ、帰宅困難者対策をはじめ、防災面においても非常に大きな役割を果たします。

答申第 1 9 8 号では、都心部とのアクセス利便性の向上が期待される一方、事業性の課題が指摘されており、同盟会では、これらの課題に対する調査・研究を実施するため、平成 2 9 年度に研究部会を立ち上げました。

この中で、事業性の確保に必要な需要の創出に繋がる沿線開発の取組や、茨城県西・南部地域が東京の都市機能のバックアップ等に資する可能性について調査・研究を行うなど、積極的に活動を進めております。

この同盟会の活動と並行して、各県単位でも積極的な取組を行っており、貴県及び茨城県の構成市町では、それぞれ県と連携した勉強会を開催しております。

また、千葉県野田市では、平成 2 9 年度から、学識経験者や有識者、民間代表及び市を構成メンバーとする委員会を設置して、鉄道整備と連携したまちづくり方針などを検討する深度化調査に着手しております。

今後も、構成 1 1 市町が足並みを揃え、貴県、千葉県及び茨城県と連

携を図りながら、東京８号線（八潮－野田市）の早期事業化を目指し、
取り組んでまいります。

何卒、当地域の実情をご賢察いただき、同盟会及び構成市町の活動に
対しまして、貴県の積極的な参画及び協力をいただきますよう、特段の
ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。

平成３１年１月３１日

埼玉県知事
上 田 清 司 様

地下鉄８号線建設促進並びに誘致期成同盟会

会 長	越 谷 市 長	高 橋 努
	越谷市議会議長	武 藤 智
副会長	松 伏 町 長	鈴 木 勝
	松伏町議会議長	川 上 力
副会長	野 田 市 長	鈴 木 有
	野田市議会議長	鶴 岡 潔
副会長	坂 東 市 長	木 村 敏 文
	坂東市議会議長	張 替 秀 吉
	草 加 市 長	浅 井 昌 志
	草加市議会議長	関 一 幸
	八 潮 市 長	大 山 忍
	八潮市議会議長	朝 田 和 宏
	吉 川 市 長	中 原 恵 人
	吉川市議会議長	中 嶋 通 治
	下 妻 市 長	菊 池 博
	下妻市議会議長	原 部 司
	常 総 市 長	神 達 岳 志
	常総市議会議長	風 野 芳 之
	筑 西 市 長	須 藤 茂
	筑西市議会議長	金 澤 良 司
	八 千 代 町 長	大久保 司
	八千代町議会議長	上 野 政 男